

### Seed Pod

#### ■ プルメリアの種ができるまで

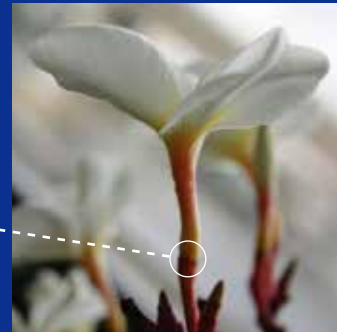
花もそろそろ終わりを迎える夏の終わり頃、戸外にだしばなしのプルメリアに、自然受粉によって出来た豆粒サイズの「プルメリアの種／シードポッド」を見つけることがあります。シードポッドを見つけたら、種を収穫するまで見守ってみましょう。すくすくと大きくなっていき、9～10ヶ月近くで殻が開き種が見えます。



種が出来てまだ数日のシードポッド。毎日見るたびに大きくなっていくのがわかります。



白や黄色の花はグリーンのシードポッド。ピンクや赤系の花はブラウンのシードポッドができます。



開花後、受粉したプルメリアは点線の部分が種となります。小花柄（花を支えていた柄の部分）も生長とともに太くなっていきます。



花の種類により形や大きさも少しずつ違います。通常ブーメランのように2又になっていますが、不規則的に1つのももあります。



写真左下は十分に大きくなったシードポッド。右上にはすでに殻が開いて種が飛び散った後のシードポッドが見えます。



冬に休眠している間（完全に水を断った状態）でもシードポッドは生長を続けます。



ある日突然殻は茶色く乾燥し、中央から半分に割れます。割れた殻の中には種がびっしりときれいに並んでいます。



シードポッドの大きさや形がいろいろあるように、種の形も大きいものや丸みを帯びたものなど、様々です。



通常の培養土にウイング（羽）の部分を外に出し土中に植えます。発根するまでは水分を切らさないようにします。1～2週間程度で発芽します。

